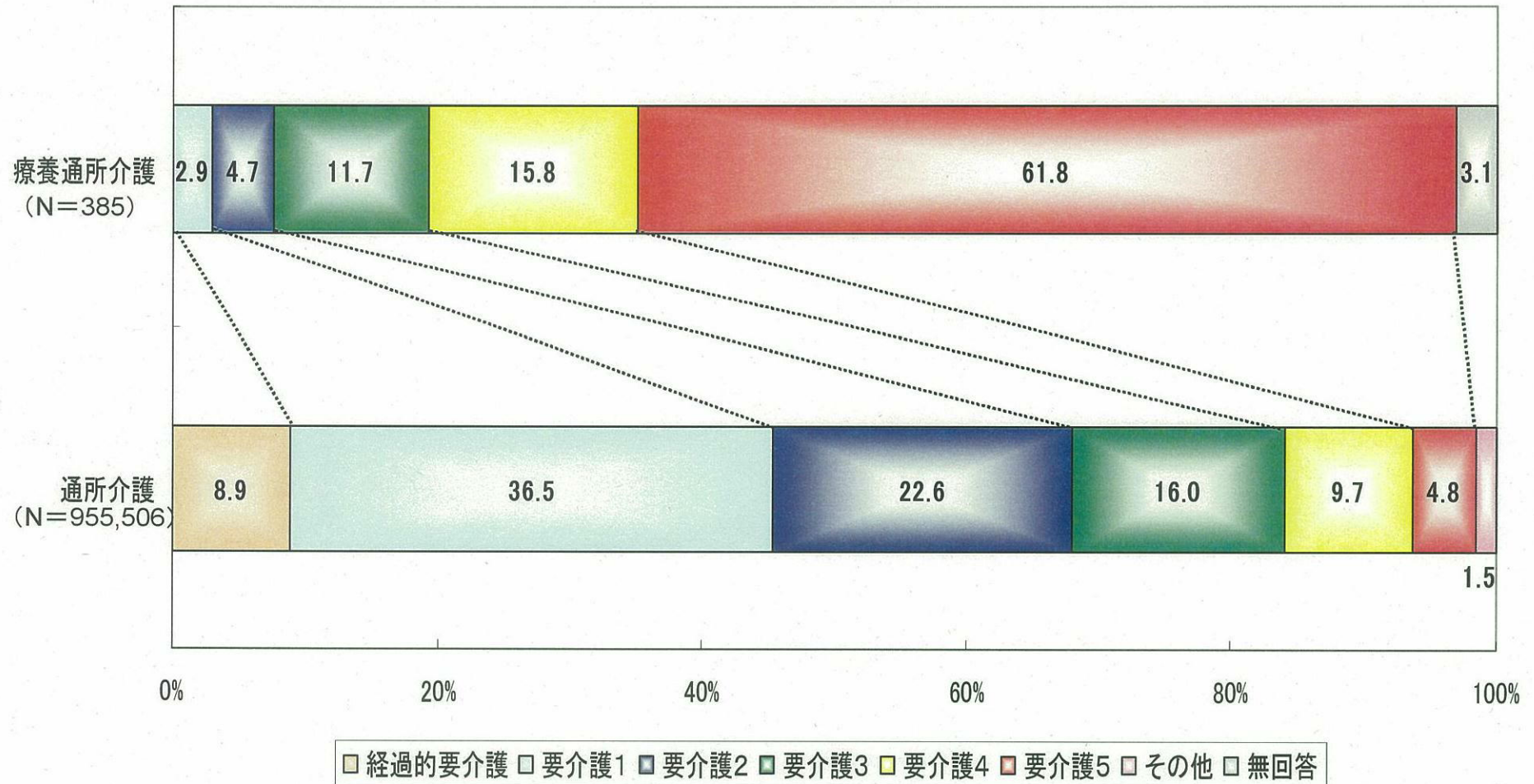


○ 通所介護の利用者の約6割が要介護1、2の軽度者であるのに対し、療養通所介護事業所利用者の要介護度は、要介護4、5の重度者が7割を超えている。

療養通所介護利用者の要介護度の状況



出典：(財)日本訪問看護振興財団 平成19年度厚生労働省老人保健事業健康増進等事業「療養通所介護事業の適正な運営に関する調査研究事業報告書」  
 厚生労働省 平成18年介護サービス施設・事業所調査

**【療養通所介護のサービス利用状況】**

- 定員数(現行制度では5名以内)が5名の事業所は61.1%(平均定員4.31人)
- 待機者は、5名を定員数としている事業所で6か所、3～4名としている事業所で2か所ある。

**療養通所介護の利用の状況**

事業所の定員数	1～2名	3～4名	5名	
施設数	1か所(2.8%)	13か所(36.1%)	22か所(61.1%)	計 36か所(*)
1月の実利用者数	2.33人	4.27人	11.65人	平均 8.73人
1月の延べ利用回数 (3時間以上6時間未満)	—	7.39回	7.46回	平均 7.44回
1月の延べ利用回数 (6時間以上8時間未満)	9.44回	16.58回	40.35回	平均 30.91回
待機者がいる事業所数	—	2か所	6か所	/
平均待機者数	—	1.5人	2.8人	
定員を理由に利用を 断ったことがある事業所数	—	1か所	4か所	

**待機者がいる事業所の週の開設と定員数**

週の開設日及び 定員数	週5日開設 定員5名	週5日開設 定員3名	週3日開設 定員5名	週3日開設 定員4名	週2日開設 定員5名
事業所数	4か所	1か所	1か所	1か所	1か所

出典:平成19年度 老人保健健康増進等事業「療養通所介護事業の適切な運営に関する調査研究事業報告書」日本訪問看護振興財団

\* 全事業所(50か所)を対象に調査、有効回答数36(72%)。

【療養通所介護のサービス利用状況】

- 療養通所介護利用者の居室の床面積に関する基準は、老人保健施設と同じであり、介護療養型医療施設よりも広がっている。
- 一方、利用者の平均要介護度は老人保健施設と比較して高く、介護療養型医療施設と同程度である。

施設基準(居室の床面積に関する基準)及び平均要介護度

	療養通所 介護	介護療養型 医療施設	介護老人 保健施設
面積要件	8.0m <sup>2</sup> 以上/人	6.4m <sup>2</sup> 以上/人	8.0m <sup>2</sup> 以上/人
平均要介護度	4.30	4.25	3.18

(※)平均要介護度:平成18年度介護サービス施設・事業所調査